

もくじ

- ・ クリスマスキャロル

クリスマスキャロル

げんさく： チャールズ・ディケンズ

イラスト： かわの まほ

へんしゅう： イエローボードプロジェクト

3

クリスマスイブの あさ。
スクルージは ふきげんな かおで、
ひとどおりの おおい しょうてんがいを
とおり、かいしゃの じむしょに つきました。
【スクルージ・マーレイしょうかい】は、
スクルージが、いまはなき しんゆうの
マーレイと たちあげた
ちいさな かいしゃです。

スクルージが じむしょに はいると、
たったひとりの じゅうぎょういん、
クラチットが げんきよく あいさつをしました。

「おはようございます、スクルージさん。
あの、スクルージさん、
あしたは クリスマスなので、
おやすみを いただきたいのですが・・・」
「やすみだと？」
「はい。こどもたちと あそんであげたいのです」
「ふん・・・まあ いいだろう。ただし、あさっては
いつもより はやく しゅっしやするんだぞ」
「はい、わかりました！ ありがとうございます！」

スクルージは つくえに、
ドンと かばんをおきました。



5

スクルージにとって、おかねが すべてでした。
おかねを ぶやすことにしか、
きょうみは ありませんでした。

ちょうど、おひるを すぎたころ。

「スクルージおじさん、メリークリスマス！」

やってきたのは、スクルージの おいっこの、
フレッドでした。

「あしたは ぼくのいえで
パーティーをひらくんだ！
おじさんも きてよ」

「わたしは いそがしいんだ。さっさと かえれ。
どうせ プレゼントが めあてなんだろう」

スクルージは フレッドを、
つめたく おいかえしました。

「まったく、なにがクリスマスだ。
どいつもこいつも・・・」

